

# 高松

## ののうちまこと VOL.46

発行：ののうち誠後援会  
〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670  
電話・FAX 0852-52-3117  
Eメール nonouchi@mable.ne.jp  
ブログで日々の活動を紹介しています。フェイスブックもやっています。  
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

後援会だより—January

発行日：2023年（令和5年）1月29日

## 令和5年の課題と期待

新型コロナの早い収束を願う一方、ロシアのウクライナ侵攻や北朝鮮ミサイル、中国による軍事的圧力、そして物価高対策など今後の推移が気になりな年明けです。

一方、松江市では、春には新庁舎一期工事の完成に伴う一部供用開始、東出雲複合施設の供用開始など明るい話題や、3月までに市の方針が決まる都市計画制度の線引きのあり方など長年の課題の行方が注目されます。

また、人口減少対策、とりわけ少子化対策が喫緊の課題です。子育てや暮らしやすい魅力ある松江市を、産官学民の総力戦で創ることが求められています。

本年も、地域の課題解決から市政全般にわたる提言まで、しっかり頑張ってまいりますので、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



### 新型コロナ対策と決算見込みの補正予算などを議決

## 11月定例議会

11月30日に開会した松江市議会11月定例会は、12月20日に21日間の会期を終えて閉会しました。11月定例会は、新型コロナウイルス感染症対策と令和4年度決算見込みの補正予算が主な議題でした。

最終日の20日は、「妊娠時から出産・

子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援」を内容とする一般会計補正予算（第9号）が追加提案され、2億8,787万円を補正（財源は5/6国・県支出金、一般財源1/6）し、一般会計予算総額を1,138億5,529万円余とするもの。11月定例会に上程の市長提出議案135件はすべて可決、陳情5件は「子どもへのコロナワクチン接種反対」等4件は不採択、「市街化周辺地域の具体的なまちづくりの方針策定のための関係制度の整備について」は採択。また「市議会に

おける議員別の表決結果公表のお願い」は継続審査としました。

そして、議会提出議案4件が上程。「市議会の個人情報保護に関する条例制定」と「北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書」、「太陽光発電施設の設置に関する法整備を求める意見書」、「地方路線バスを維持するための財源措置を求める意見書」は、原案どおり可決されました。（予算金額や提出議案の詳細は市ホームページや市報等をご覧ください）

## 最近の活動から

### 原発立地議会サミット・国際特別都市議会議長会

新型コロナ禍でも諸会議の開催が復活しつつあります。10月27日と28日の両日、東京で2年に1回開催の「第13回全国原子力発電所立地議会サミット」に出席。このうち、第3分科会は、松江市議会が運営関与する分科会で、座長は立脇議長、野々内は会場責任者を務めました。対面でのリアル会議は非常に大切で、諸課題の理解も早いと実感しました。

行政組織である「国際特別都市建設連盟」と相連携し、相互友好や自治の進展、観光・文化資源の施策の実現等を図ることを目的とした「国際特別都市議会議長協議会」。総会が11月1日と2日の両日松江市で開催され、開催地議会として、正副議長と議会事務局がお世話をさせていただきました。



主会場の品川プリンスホテルのホールで



野々内は、松江市の紹介や開会挨拶を

### 議会広報番組の収録

11月4日は、マーブルテレビで11月に放送の「松江市議会レポート」の収録が市役所でありました。4常任委員長と決算特別委員長が、2月定例会以降の委員会における審査内容について報告しました。

そして今年2月中には「第3回松江市議会レポート」を放送予定。番組内容は、議長の挨拶の後、新庁舎建設特別委員会など5つの特別委員会の審査内容を報告する予定で、野々内は、番組締めくくりの挨拶を担当します。



野々内は、番組締めくくりの挨拶を担当

## 後援会のお知らせ

ののうち誠後援会にご加入いただき、一緒にまちづくりをしましょう。この度後援会だよりvol.46を発行いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

### ののうち誠 プロフィール

昭和25年生まれ（現在72歳）出雲郷小学校→東出雲中学校→島根県立松江農林高校→東出雲町役場就職（平成23年3月に町参事を最後に退職）→平成23年8月松江市議会初当選、平成25年4月2期目当選平成29年4月3期目当選 令和3年4月4期目当選

ホームページ、  
ブログはこちらから



### 門部の王（かどべのおおきみ）の講話

12月4日、松江歴史館で開催の「門部王（かどべのおおきみ）の歌とその時代」の講座。東出雲町の「阿太加夜神社」の境内に「面足山（おもたるやま）」と呼ばれる丘の「面足山万葉公園」の一角に万葉の歌人門部王が詠んだ一句を刻んだ歌碑が建立されており、野々内はその「面足山万葉公園を守る会」の会長を務めさせていただいていることから、勉強に出かけました。

講座は、内田賢徳京都大学名誉教授（雲南市出身）が、山陰の万葉集に関わりのある、柿本人麻呂や山上憶良、大伴家持、出雲国司の門部王などのお話。次に、山陰万葉を歩く会会長の川島芙美子さんが、万葉集の山陰縁の歌人の解説のほか、古代出雲は東から開けてきたことなど、古代出雲のすごさについて話されました。



川島さんは面足山万葉公園を守る会発行の歌碑建立50周年記念誌も紹介

### はたちの集いで祝辞

1月8日、くにびきメッセで開催の「令和5年松江市はたちの集い」の午後の部（橋本地区対象）。令和4年の民法改正により成年年齢が18歳に引き下げられましたが、松江市では20歳の



野々内の祝辞。隣の女性は手話通訳の方

式典とし名称は「はたちの集い」に変更されました。

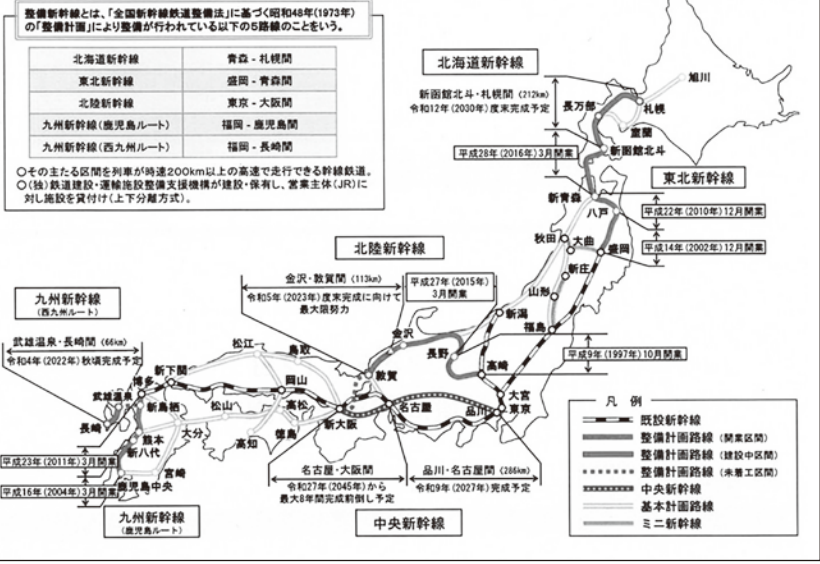
今年の対象者は2,066名。議長祝辞は午前の部（橋本地区）は立脇議長が、午後の部は野々内が代読で行いました。

### 2月定例議会予定

2月	21日（火）	本会議（会期の決定、提案説明）
	27日（月）	一般質問
	28日（火）	一般質問
3月	1日（水）	一般質問・議案質疑・委員会付託
	3日（金）	予算委員会（質疑、分科会分担・委託）
	6日（月）	総務委員会・予算委員会総務分科会
	7日（火）	総務委員会・予算委員会総務分科会
	8日（水）	教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会
	9日（木）	教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会
	10日（金）	経済委員会・予算委員会経済分科会
	13日（月）	経済委員会・予算委員会経済分科会 建設環境委員会現地視察
	14日（火）	建設環境委員会・予算委員会建設環境分科会
	15日（水）	建設環境委員会・予算委員会建設環境分科会
	20日（月）	予算委員会（分科会長報告・質疑・討論・採決）
	24日（金）	本会議（委員長報告、質疑・討論・採決）、閉会

## ◆後援会事務局◆

〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670 TEL・FAX / 0852-52-3117  
Eメール nonouchi@mable.ne.jp <http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>



◀全国の新幹線鉄道網の現状

地元負担金や並行在来線のあり方は、国の責任において整理を行い、早期整備を図るべきものと考えており、一層の要望活動などの取り組みが必要だと考えます。

**山陰地方の新幹線誘致活動**

山陰新幹線の整備促進を図るため、2府5県の52市町村で構成する「山陰縦貫・超高速鉄

課題 **クローズアップ** Assignment close up

**「山陰にも新幹線を」 誘致活動を行っています**

昨年9月に西九州新幹線が開業して、全国で新幹線が通らないのは山陰両県を含めて15県になりました。山陰両県では、中国横断新幹線（伯備新幹線）と山陰新幹線の計画があります。50年前の昭和48年に基本計画路線となりましたが、この2新幹線は他の新幹線に先を越され、整備計画路線に格上されることなく進展をみていません。

そこで、山陰両県の産官を中心に整備計画路線への格上活動を行っており、松江市議会でも議員連盟を設け活動を行っています。新幹線の早期開業を目指した活動を紹介しします。

**新幹線整備の現状**

東海道新幹線や山陽新幹線に続き開業した東北新幹線・上越新幹線を「第1グループ」とすると、「第2グループ」は北海道・北陸・九州（鹿児島ルート）（西九州ルート）の各新幹線。「第3グループ」は、山陰の2路線や四国・東九州を含む11路線が基本計画に告示され、現在に至ります。この中で唯一「中央新幹線（リニア中央新幹線）」が整備路線に格上げされ着工中です。

昨年9月には「西九州新幹

線の一部（長崎ー武雄温泉）」が開通。また、令和6年春には北陸新幹線の金沢・敦賀間延伸の開業予定。これらの動きから「第3グループ」で整備計画路線格上げの順番待ちの山陰の2路線を始め、次は我々だと誘致活動にしのぎを削る状況です。コロナ禍にあつて中央要望活動が人数制限に阻まれていますが、コロナ後には活性・先鋭化していくと考えています。

**新幹線が開通したら**

まず、大阪から鳥取・島根両県を經由し下関を結ぶ「山陰

道整備推進市町村会議」や、中国横断新幹線（伯備新幹線）の整備促進を図るため、中海・宍道湖・大山圏域の市町村、市町村議会、経済団体の計44団体で構成する「中国横断新幹線（伯備新幹線）整備促進会議」が令和元年に設立され、国への要望活動などの取り組みを行っています。

また、中海・宍道湖・大山圏域の5市議会（松江・出雲・安来・米子・境港）では、新幹線整備促進市議会議員連盟を設立し、取り組みを行っています。

**松江市議会議員連盟の活動**

松江市議会では、中国横断新幹線（伯備新幹線）と山陰新幹線の整備計画路線への早期格上げを目指し、平成29年12月に「山陰新幹線・伯備新幹線整備促進松江市議会議員連盟」を設立。市議会の共産党市議団以外の31議員で組織し、現在、野々内はその会長として旗振り役を務めています。活動は、調査研究活動や要望活動、他自治体議会との連携

新幹線」が開通すると、松江・新大阪は90分で結ばれます。また、岡山・松江を結ぶ「中国横断新幹線」はJR伯備線をルートとし45分間で結ばれます。

その効果は、圏域の振興発展や大きな経済波及効果はもとより、国土の均衡ある発展や災害時の代替ルートとしての国土強靱化の推進や地方創生の実現にも期待がされています。また、1便で1千人前後の輸送が可能であり、他の交通機関と比べると大きな高速輸送能力を有します。

**新幹線誘致の課題**

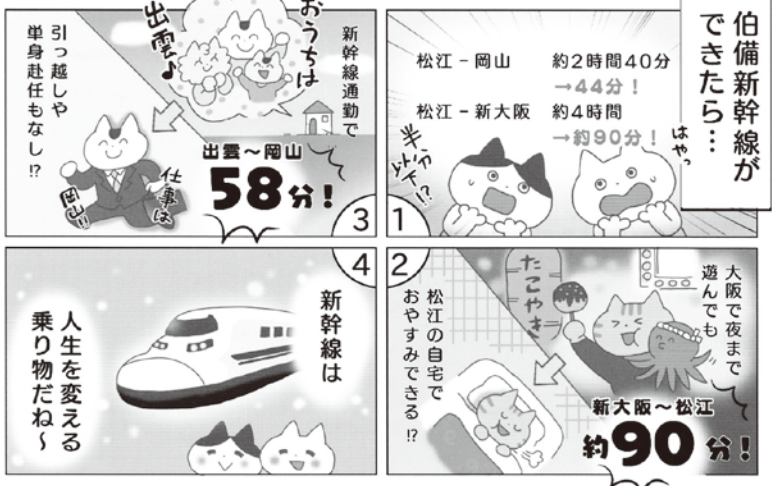
新幹線の建設費用は、JRが国側に支払う線路使用料を充てた残りを国と沿線の県・市町村が負担する仕組みですが、東海道新幹線や山陽新幹線などは地元負担をしています。鉄道に関する自民党のプロジェクトチームは、全国ネットワークの早期構築が重要だとして、国費の投入を増

などで、新型コロナ蔓延の直前に5市議員連盟に働きかけて連携し東京で関係国会議員の皆さんに要望活動をした後は、日本青年会議所中国地区協議会主催の「山陰の新幹線の早期実現を目指す署名活動」に呼応、各種新幹線早期実現関連の大会への参加、リモートで国土交通省の主管課長による研究会などを行っています。

野々内は、昨年10月に開業直後の「西九州新幹線」に乗りし、諫早駅周辺整備の状況を視察・調査する機会を得ました。長崎県の大きなリーダーシップのもと、積極的な新幹線整備が行われたと聞きました。

「次は山陰へ」を合言葉に、関係組織を始め、県や経済団体、地域団体などと連携し、整備計画路線への早期格上げ運動などを活性化し、圏域の皆様の熱意を糧に機運を盛り上げたいと考えています。

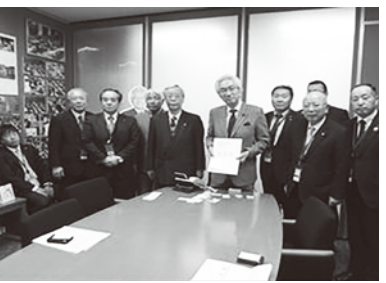
しっかりと地元から声をあげることが大切です。市民の皆様が盛り上がり期待をされているところです。



「伯備新幹線ができたなら」漫画▶



松江市議会新幹線議員連盟会長として総会挨拶



鉄道に関する自民党プロジェクトチーム座長の西田昌司参議院議員にも要望活動



西九州新幹線の「かもめ号」